

SIA

2023 Summer

人と人をむすぶ、
人と世界をむすぶしーあ
VOL.124

公益財団法人 滋賀県国際協会

Shiga Intercultural Association for Globalization

〒520-0801 滋賀県大津市におの浜1丁目1-20 ピアザ淡海2階

TEL.077-526-0931 FAX.077-510-0601

E-mail: info@s-i-a.or.jp URL: https://www.s-i-a.or.jp

特集

日米友情人形交流で
受け継がれる平和への願い

戦前に始まった日米友情人形交流(一般的に「青い目の人形交流」と呼ばれるもの)は、戦争中も密かに守られた人形とともに今も交流が続けられ、現在県内には10体の人形が大切に保管されています。

平和への願いとともに続けられているこの取組について、一般財団法人滋賀YMCAの久保田展史さんにお話を聞きました。

左から学園エデュケーター ヴィッキーちゃん、YMCAシャノンちゃん、学園ヴィヴィアンちゃん



Contents

① 特集

日米友情人形交流で受け継がれる
平和への願い

◎日米友情人形紹介(3頁)

④ SIA NEWS

●新会長就任あいさつ

①ウクライナについて【報告】

②2023年度びわこ奨学生が決定しました!

⑤ 今、この人にInterview

大津市の商店街でゲストハウスと薬膳料理の店を開く
王培英さん

⑥ おしえて世界のこと

暑さの乗り切り方、暑さ対策の方法は何ですか?

⑦ SIAメンバーズ

▶ 日米友情人形交流の歴史

1920年代後半、アメリカと日本の関係に暗雲が垂れ込めていました。アジアへの進出をじわじわと続ける日本の脅威と、この時代にどんどん増えていたアジアからの移民に対して、アメリカでは移民法が施行され、これに反発する日本とアメリカの関係が悪化してきていました。シドニー・ギュリック三世氏と渋沢栄一氏が民間の交流として人形交流を始めたのはこのころです。

シドニー・ギュリック三世氏は若い頃に来日し、熊本県の教会や西日本各地の教会・学校で働きました。同志社大学で神学部教授として教鞭をとった時代に、滋賀YMCAとヴォーリス学園の創立者

であるウィリアム・メレル・ヴォーリス氏と盟友になりました。ギュリック氏がアメリカに帰国すると、母国での日本人移民排斥運動に直面。その

状況を憂いたギュリック氏は、両国の将来の平和を担う日米の子ども達に壁をつくらないようにと、旧知の渋沢栄一氏とともに「日米友情人形交流」プロジェクトを計画しました。

1927年(昭和2年)、アメリカから横浜港へ12,739体の人形が到着し、日本全国の小学校や幼稚園に配られました。滋賀県には135体の人形が配られ、ヴォーリス氏は、当時の滋賀県での歓迎式で、贈呈役を務めました。

しかしその後、日本とアメリカは太平洋戦争で戦うことになりました。日本では、この戦争の最中に軍部の圧力により、友情人形を「敵性人形」として子ども達に竹やりで突かせたり火に放り込ませたりと、その多くが処分されてしまいますが、優しい心を持った方々により隠され守られた人形約三百数十体が、全国に残されています。滋賀県では、平野小学校、稲枝北小学校、甲南第二小学校、日野小学校で発見され、今も大切に守られています。また、日本から贈られたアメリカへの答礼日本人形もアメリカで多く残されています。

▶ お孫さんのギュリック三世氏の活動

2021年12月、ギュリック氏のお孫さんのシドニー・ギュリック三世夫妻が、ヴォーリズ学園と滋賀YMCAに人形が存在しないことを知り、ぜひ人形を贈りたいと申し出をされ、ヴォーリズ学園の子ども園・保育園に1体、小中高校に1体、滋賀YMCAに1体の人形をプレゼントしてくださいました。このことは、子ども達に「平和の大切さの学び」「異文化の理解」そして「多様性の理解」を伝え、私たち大人も改めて学ぶ機会となりました。

これをきっかけに、人形を持つ学校と滋賀YMCAでぜひ平和の学びを進めていこうと、翌2022年8月には関係者全員が集まって研究会を実施しました。それぞれの学校での取組を発表し合い、良き学びとつながりのできたひとときとなりました。



▲2022年度「日米友情人形」研究会

▶ ギュリック三世夫妻歓迎式典



▲2023年5月30日歓迎式典

2023年5月、シドニー・ギュリック三世夫妻が来日し、滋賀YMCAとヴォーリズ学園を訪問されました。ヴォーリズ平和礼拝堂を会場に歓迎式典を開催し、戦前に贈られた4体の人形と、戦後ギュリック三世夫妻によって贈られた6体の人形が顔を揃えました。

ギュリック三世氏からは、送った人形が大切にされて子ども達の「平和」の学びに生かされていることに感動したこと、これからも人形を通して学んだ優しい心が世界の平和へとつながることを祈っていますとのスピーチがありました。ギュリック三世夫妻は何より子ども達と触れ合えたことをとても喜んでおられました。

▶ 交流に込められた想いと平和への願い

ギュリック三世氏の歓迎式典でのスピーチの中で、「これらの平和への心は幼い子ども達には素直に響くのです」という印象的な言葉がありました。これは、何事も素直に受け入れる幼い子ども達に、国や民族、文化を超えて優しい友情を持つことの大切さを知ってもらいたいということです。日本では一般的に「青い目の人形交流」と呼ばれることが多いこの「友情人形交流」ですが、これは当時流行した童謡による影響です。シドニー・ギュリック一世氏が贈った人形も、ギュリック三世氏が贈った人形も、すべてが青い目をしていただけではありません。アメリカは多民族国家で、様々な肌の色や髪の色、目の色の人たちが暮らしています。このような多様性を、子ども達が抵抗なく受け入れ、偏見や差別のない社会を築く基礎を作してほしい。分断ではなく理解による寛容、そして受け入れることを学んで欲しい。そのような考えで様々な肌や髪、目の色の人形が贈られているのです。

子ども達に障壁を持たない目で平和を大切にすることを育んでもらいたいという願いを受け継ぎ、私たちも異文化理解と交流を継続しながら「平和教育」の取組を進めていくつもりです。

そしてこの機会が、人形を持つ学校だけでなく、人形を持たない学校の方々も参画できる、滋賀県下の学校の「平和教育」のネットワークとなることを願っています。



日野町立日野小学校

マリオンベビーちゃん(戦前に贈られた人形)と2018年3月に贈られたティナちゃんがあります。昨年10月には劇団を招いてミニコンサートと「青い目の人形」の劇を鑑賞し、「髪の色や言葉は違っても、心が通じ合えば友達になれる」ことを学びました。日野小学校では、今後も学校の宝として2体の友情人形を大切にするとともに、引き続き子ども達と平和学習を行っていきます。



マリオンベビーちゃん



ティナちゃん

甲賀市立甲南第二小学校



メリーちゃん



ナンシーちゃん

メリーちゃん(戦前に贈られた人形)と2016年に贈られたナンシーちゃんがあります。PTAの皆さんが人形の着替えの服を何着も作ってくださっていてとっても衣装持ちです。

子ども達は「青い目の人形とふるさと学習」として学習に取り組んでいます。2009年には、当時の校長先生が中心となってプロジェクトを立ち上げて、地域の方の協力のもとメリーちゃんの代わりに抱っこできるレプリカが作られ、子ども達の遊び相手になってくれています。地域と共に、人形を大切に教育に生かしておられます。

ヴォーリズ学園

学園のこども園・保育園にヴィッキーちゃんが、小学校・中学校・高校にヴィヴィアンちゃんが、2021年に贈られました。0歳児から5歳児までの子ども達にとって、人形というのは身近な存在であり、ヴィッキーちゃんが園に来てからは、まるで家族のように、お友だちのように愛おしく思っています。仲良しのしるし、友だちのしるし、平和のしるしとして親しんでいます。

ヴィヴィアンちゃんは、多くの中学生・高校生が利用する学園の図書館の入り口で、毎日、学園の生徒達のことを優しく見守ってくれています。世界中に平和の花が咲き、世界中の子ども達が笑顔でいられることを願っています。

※人形の写真は表紙参照

日米友情人形をご紹介します

滋賀県内には、戦前にギュリック1世氏によって贈られ現存している人形4体と、戦後にお孫さんのギュリックIII世夫妻により贈られた6体の計10体の人形があります。戦前の人形は1体1体名前を書いたパスポートが添えられていたそうです。ギュリック1世氏は、ただの人形ではなく、友情の使節として人格を持たせたかったようです。

ギュリックIII世夫妻も必ずパスポートと共に人形を贈ってくださっています。

滋賀YMCA

滋賀YMCAにはヴォーリズ学園の人形と共に2021年に贈られたシャノンちゃんがあります。シャノンちゃんは滋賀YMCAの1階ロビーで、来館される方と子ども達を毎日迎えてくれています。

滋賀YMCAの学童保育(放課後児童クラブ)ではシャノンちゃんを贈っていただいたことをきっかけに、夏休み中に平和について学ぶ機会を持ったり、「いじめ」や「友情」について考えたりしました。シャノンちゃんは学童保育の子ども達と共におまごごに参加したり、遠足と一緒に出かけたりと今では学童保育の一員となっています。

※人形の写真は表紙参照



子ども達と八幡堀り遠足



シーラちゃん

日野町立西大路小学校

2021年3月に贈られたシーラちゃんがあります。隣の日野小学校には戦前に贈られた人形も含めて2体の人形がありますが、西大路小学校には戦前に贈られた人形がありませんでした。

人形交流を題材にしたミュージカルを見て、子ども達はぜひ自分達の学校にも欲しいとギュリックIII世夫妻に手紙を書きました。そしてシーラちゃんがやってきました。シーラちゃんは、来賓として学校行事に参加したり、体操服や袴等、節目に着替えをしたりと、大切な学校の一員です。昨年は、この取組への理解を深めようと、オリジナルの紙芝居を作りました。

大津市立平野小学校

ジェーンハイランドちゃん(戦前に贈られた人形)は、戦後に壁の中に隠されているのを発見され、現在は大津市歴史博物館に預けられています。

ジェーンちゃんは年に一度、平野小学校に里帰りして来ます。校長室に隣接したスペースで、資料や写真と一緒に迎えられます。この期間、全てのクラスでジェーンちゃんについて学び、その後校長室を訪れます。休み時間には、より深く学びたいと、資料や絵本を読んだり、お人形をじっくり観察したりする時間を過ごしています。子ども達は、年に一度、ジェーンちゃんが歴史博物館から学校に帰ってくるのを楽しみにしています。



ジェーンハイランドちゃん

彦根市立稲枝北小学校

マリオンLスナイダーちゃん(戦前に贈られた人形)は大切に木箱に納められ、その箱の表書きには「世界児童親善の使者、1927.4」と墨書きされています。人形も衣装もかなり風化して痛みが進んでいます。子ども達が抱っこをすることはできず、校長室のガラスのケースの中にいます。2016年にマリオンちゃんの絵本を製作し、毎年入学する子ども達に配付しています。4月には、担任の先生からマリオンちゃんの絵本を読んでもらいます。6年生の総合的な学習の時間には、「青い目の人形」の人形交流について学習をしています。



マリオンLスナイダーちゃん

新会長就任のごあいさつ

公益財団法人滋賀県国際協会
 会長 ^{かん てつや} 菅 哲哉



本年6月の役員改選において会長に就任いたしました。どうぞよろしくお願いたします。

当協会では「共感から実践へ」をテーマに掲げ、国際理解、多文化共生など幅広い事業に取り組んでいるところです。

こうした中、昨年12月末の県内の外国人人口は108の国・地域より36,158人、過去最高となり、また、本年はミシガン州との姉妹提携55周年、湖南省との友好提携40周年の節目を迎えました。

さらに2025年には大阪万博が開催されるなど、本県を取り巻く国際化は、ますます進展すると見込まれますことから、今後より一層の多文化共生の地域づくりに努めてまいります。引き続き皆様の御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

News

ウクライナについて【報告】

1 ~しがウクライナ避難民 イリーナ マーリシェバ チュプラさんの講演より~

ロシアによる侵攻から1年以上が過ぎました。現在、滋賀県には11組18人のウクライナ避難民が生活しています。

今回は、栗東市に避難するイリーナさんが7月1日「あいこうか生涯カレッジ」でウクライナの暮らしや現在の心境などについて講演された内容を紹介します。

ウクライナは、鉱工業を中心とした産業が盛んな国です。また、肥沃な黒土「チェルノーゼム」が広がり、ヨーロッパの“パンかご”と呼ばれ、農業も盛んです。公用語はウクライナ語で、芸術やスポーツも盛んなどとても美しい国でした。

しかし、戦争により美しい街は破壊され、物価も4~5倍に高騰。ロシアに隣接する地域で使われていたロシア語は使用されなくなり、毎年クリスマスに子ども達のところに来ていた青いガウンを着た“ゼトマロース”はロシアにルーツがあるため来なくなり、今は赤いサンタに代わりました。



▲左からウクライナの民族衣装を着たイリーナさんと息子のマークさん、通訳(英語)の阿部さん

現状についてイリーナさんは、「母国に残る夫のことを毎日心配している。毎日爆撃があり、最近では自宅近郊のザポロジエの原子力発電所への攻撃の噂があり大変憂慮している」とのこと。

日本での生活について聞かれると、「まずたくさん感謝を伝えたい。多くの人からの支援により特に困ったことはない」とのことでした。

まだまだ、戦況は終息が見えず、避難も長期化が予想されます。

当協会では、滋賀県と協力して「しがウクライナ避難民応援支援金」を募集しています。皆様のご協力をお待ちしています。

「しがウクライナ避難民応援支援金」

<https://www.s-i-a.or.jp/news/757>

募金総額 16,656,026円
 支援実績 9,426,180円
 (2023年6月30日現在)

詳しくはHPをご覧ください

ウクライナ避難民とその家族が彦根にウクライナ料理店をオープンしました!

ウクライナ料理店「The Faina(ザファイナ)」
 彦根市本町1-7-36 夢京橋キャッスルロード
 (JR彦根駅西口下車徒歩17分、月火休み)
<https://www.faina.tokyo/>

ウクライナ語で使用するキリル文字とあいさつ

こんにちは
 «Привіт»(プリビットウ)

ありがとう
 «Дякую!»(チャーキュウ)

バイバイ
 «Бувай!»(ブーヴァイ)

News

2 2023年度びわこ奨学生が決定しました!

授与式開催日 2023年6月28日(水) 会場 ビアザ淡海(大津市)

2023年度「外国人留学生びわこ奨学金」奨学生10名を決定し、奨学金授与式を開催しました。この奨学金は、県内大学に在籍し、学業や地域活動に励む留学生に対して支給するものです。奨学生からは「大学院進学をめざしたい」「持続可能な社会の実現に貢献したい」といった抱負が述べられました。

奨学生は勉強だけでなく「びわこ奨学生ボランティア」として国際交流や多文化共生の活動に協力いただきます。奨学生のイベント等への参画希望の方は、当協会事務局までお問い合わせください。



2023年度
 外国人留学生びわこ奨学金授与式
 公益財団法人 滋賀県国際協会

今、この人に **いんたびゅう** Interview

大津市の商店街でゲストハウスと薬膳料理の店を開く

王 培英(おうばいえい) さん

商店街の一員として、自分から日本の地域社会に深く関わるようにしています。
これからも“自分のできること”からやっつけていこうと思います。



■30年前に来日されたということですが、きっかけは何だったのですか？

中国はその当時改革開放時代で、経済発展へ政策転換の真只中でした。私は勤めていた会社から2年間の留学で日本に来ました。日本語1級の資格を取得し、中国に戻って日本語の翻訳や通訳の仕事をするつもりでしたが、「もう少し日本で勉強したい」という思いが沸いてきて、大学から大学院へ進学しました。

■研究者の道に向けて、日本での在住が長くなったわけですが、日本で受けた印象を教えてください。

一番驚いたのは交通や通信の便利さで、通勤に電車を使い、各家に電話機があったことでした。ただ、そんなモダンな生活スタイルの反面、家が地味なものにも驚きました。特に京都は町家暮らしというアンバランスな雰囲気に戸惑いました。当時は日本の「侘び寂び」は未開発のことだと思っていましたが、社会学、人文学の視点で見ると「美しさ」であることが分かりました。また、日本人の細部にわたるものづくりのアイデアも素晴らしいと思いました。何よりも居心地が良かったのは学生時代に日本の社会との出会いが多かったことです。当時は留学生支援者の方に、住む場所やバイト先を紹介してもらい、毎週お茶会も開かれ、地域住民との交流が頻繁にありました。それが今の私の活動のきっかけになっているように思います。

■その後、研究者の道からゲストハウス運営に方向転換されますが、どんないきさつだったのでしょうか？

研究者の道に進むつもりでしたが、子どもが生まれ、子育てをしながら無理せず自然体で私のできることをしようと思うようになり、子どもが3歳になった時に研究者を辞めました。仕事としては週一で大学の講師をして、子どもの時間に合わせて、自由に時間が調整できる仕事を考えていました。それがゲストハウスでした。浜大津のゲストハウス1号店は、海外受験生の宿泊施設として、またその後の生活のアドバイスなどでもできる場所として2016年にオープンしました。その頃から

インバウンド観光でお客さんも多くなり、2019年に大津の商店街で2号店をオープンしました。

■大津の商店街のゲストハウスに喫茶店を併設されたのは、なぜですか？

当初の計画では1階はゲストハウスのエントランスだったのですが、ここは元々ケーキ屋さんで、地域のお年寄りの皆さんの集いの場所になっていたということを知り、計画を変更してコミュニティースペースとして喫茶店にしました。その際、私が無理なくできることをやろうと思い、母が中国で作っていた家庭料理を未病息災のための薬膳料理としてメニューに取り入れることにしました。

留学生の時日本の人たちの方から積極的に関わってくれていましたが、今は私から商店街の一員として日本の地域社会に深く関わるようにしています。

■大学では留学生を対象に、日本で生活するために必要な法律や衣食住の基本を教えておられますが、特に大事なことで伝えられていることは何ですか？

「皆さんが住む環境のことを知ってください」と言っています。例えば、日本は地震大国です。いざというときの避難場所を把握しておくため、地域の避難訓練に積極的に参加して、避難マップを持つておくことが大事です。単に日本語がわかるだけでなく、日本の風土がわかることで、就職の際も、社会の一員となってからもスムーズに進んでいけるんです。また、私が留学生だった頃と比べると、今の留学生は日本の社会との接点が少ないと感じます。身近なところから、地域社会との関わりを大切にしてほしいですね。

■研究者としての経験を経て、今、地域に根差した活動を進められていますが、どんな想いで取り組まれていますか。また、今後の抱負や目標をお願いします。

環境社会学を研究していたときに学んだ「自分のできることをやる」という姿勢は地域の活動の中でも変わらず大切にしています。自分の持っているキャリア

▲「喫茶長江の野菜は、無農薬で夫と一緒に栽培しています。好きな花も育てていて、地域の人も手伝ってくれています」と王さん。赤ちゃんの離乳食にもなる雑穀米のお粥も人気とのこと。

●プロフィール●

中国の大学を卒業後、石油採掘関係の研究所に勤める。仕事で必要となる日本語を学ぶため1992年来日。京都精華大学で環境社会学を学んだ後、京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科で博士号を取得。その後、琵琶湖の周囲で暮らす人々と中国の太湖との比較研究のため2004年に滋賀に。書画家の馬樹茂さんと結婚後、子育てをきっかけに働き方を一新。現在は京都経済短期大学で非常勤講師を務める一方で、地域の人と交流しながら、ゲストハウスと薬膳料理の店を営む。



喫茶長江

住所:大津市長等2-2-23
電話:050-1047-9514
営業時間:9:00~15:30
定休日:土日祝日



◀店の前にはお店に来る地域のお客さんのために椅子が置かれている。店内は書画家で夫の馬樹茂さんのギャラリーにもなっている。

を活かしながら、自分が置かれている環境と時間の中で、自分ができることからするということが、もっとも人間らしい生き方だと気付いたんです。

そして、今は自分や家族の健康のことも考え、漢方医学について学んでいます。将来的には、その知識を活かして健康講座を開き、お年寄りの多いこの地域の人々に発信していきたいですね。これからも“自分のできること”からやっつけていこうと思います。

おしえて?世界のこ

テーマ

暑さの乗り切り方、暑さ対策の方法は何ですか?

日本は四季がはっきりしている国ですが、今年は桜の開花も早く、5月には猛暑日を記録し、早々と暑くて長い夏の到来が予感されました。

また、暑さも年々増しているように感じ、今日ほどのくらい気温が上がるのか、毎朝チェックすることが夏の日課になっています。

そこで今回は、世界の国々での暑さ対策について聞いてみました。暑い夏を乗り切る参考にしてみてはいかがでしょうか。

■ガボン

桂 武邦さん

(JICAガボン支所企画調査員)

ガボンの日中はすごく蒸し暑い。職場が海の近くなので、よく現地の人々が海風に当たりながら街路樹として植えられているモモタマナ(日本では沖縄でみられる)の木の下で休んだり、読書をしたりして暑さをしのいでいる姿が見られます。また、アフリカで広く伝わる草で編んだうちわや扇子のようなものもありますが、首都は電気が比較的安定しているクーラーがあるところも多く、日本と同じで屋内に逃げ込んで涼んでいます。



■セントルシア

山口 咲子さん (JICA海外協力隊員)

正直言うとセントルシアより日本のほうが暑いです。ただ赤道に近いので太陽の日差しが強く、皮膚をさしているように痛く感じます。セントルシア人は温度の変化に敏感で、30度を超えていない時点でも「あつい!あつい!」を連発します(笑)クーラーがない家庭が多いので、そんなときはシャワーを何回も浴びるそうです。そして扇風機で暑さをしのぎます。また私は水質調査のため川へよく出かけますが、その時に川で水浴びをしながら涼んでいる人をよく見かけます。結構山の奥へ行くため、急に人が現れるとめっちゃびっくりします。

■ベトナム

ブイ ティ タオさん

(在滋賀ベトナム青年会)

4月から8月にかけて、北部から中部、南部までどこも暑く、ベトナム北部では日中気温が42度から45度になる所もあります。最近、若い人たちの間で、暑さの下で卵焼きをするのが流行しています。もちろん、火を使わなくても卵を調理して食べることができ、この暑さがいかに恐ろしいかがわかります。そんな夏の灼熱を乗り越えるための対策は、①日焼け止めの服を着て太陽から身を守る、②日焼け止めを塗る、③水をたくさん飲む、④日差しが強いときは外出を控える、です。この季節にベトナムにお越しの際は、日差しや暑さ対策に十分ご注意ください。

■ドミニカ共和国

林 真理さん (JICA海外協力隊員)

ドミニカ共和国ではハリケーンシーズンと言われる6月~11月まで雨が多く、また気温も上がり

とても蒸し暑くなります。自宅では天井につけた扇風機が大活躍、そして週末は山間の滝や川に遊びに出かけて涼をとることがお出かけの定番です。舗装もされていないような砂利道を進んで、バナナの木など南国のフルーツの畑を眺めながら山道を汗だくになって歩いた先に視界に広がる滝つぼや、透明で冷たい川での水遊び!山間は木々も多く、日陰があるのでそれだけでも涼しくて家族連れなどで賑わいます。

■ブラジル

ギマランイスさん (滋賀県国際交流員)

私はリオデジャネイロ市で生まれ育ちましたが、あそこは簡単に言うと、暑いです。冬でも、日本人の感覚からしたら、涼しいといったところでしょうか。そのため、私は高い温度とは長い付き合いなのですが、日本とブラジルでは服装の面で対策が違おうように思います。向こうでは男女とも肌の露出をそれほど気にせず、軽くて、動きやすい服を着ています。男性の場合、上を全部脱いで出かける人もいます。ところが、その環境で育った私ですが、今や日本に染まり、半ズボンを外で履くことすら、少なくなりました。

■中国

西村 文彦さん

(滋賀県誘客経済促進センター〈湖南省〉所長)

長沙(湖南省)の夏の暑さは厳しく40度近くまで気温が上昇し、日差しは「暑い」より「痛い」という感じがします。夏は外出を控えなさいと注意されたことがあり、確かに何よりの暑さ対策なのかもしれませんが、それでは面白くありませんので、長沙にできた涼しい施設をご紹介します。なんと、屋内キャンプ施設です!クーラーの効いた快適な環境で、テント内でゆっくり過ごしたり、カラオケやマージャン、そしてBBQを楽しむことができます。まさに「いいところ」を上手く集めた施設だと感じました。



■マレーシア

萩原 良夫さん (JICA海外協力隊員)

クアラルンプールの通勤時間帯、ベトナムや水筒を持っていない人は見かけません。中には「今からサッカーの試合ですか?」と思うくらい大きなボトルを抱えている人もいます。基本、マレーシアの人は暑さ対策として、こまめに水分摂取をしていますね。勿論私も現地に習え!です。私は経口補水液の粉末をミネラルウォーターに

溶かして毎日飲むようにしています。それから、マレーシアの人たちは果物もよく食べます。ビタミン・ミネラル補給対策なのでしょうね。あとは、日中外へ出ない、シャワーを浴びる等でしょうか。

■ルワンダ

飯田 萌さん (JICA海外協力隊員)

アフリカの国という暑いイメージがありますが、ルワンダは年間平均気温が20度前後と、「アフリカの軽井沢」と言われるほど過ごしやすい気候です。暑い日には、子ども達が学校の雨水タンクから水を直飲みしている姿を目にすることもありますが、ただ、現地の人々がそれほど暑さに困っているようには感じません。逆に、「寒い寒い」と言ってセーターやダウンを着ている人が多いことに驚きました。私もこちらに来て暖かい服を買いました。



■カナダ

エミリー ラモン カルディナルさん

(滋賀県国際交流員)

カナダは寒い国のイメージがありますが、南部の夏の最高体感温度は常に40度を超えます。そこで、冷房や冷たい食べ物・飲み物に加え、カナダ人はいくつかの暑さ対策方法があります。その中で私が好きなのはプールです。家の裏庭にプールを持っている人も少なくはありませんが、公園で水遊び遊具と一緒に設置されていることもよくあって、夏休み中の学校のプールも使用できます。他にも、裏庭に子ども用のプールを置いて、水の中でくつろぐこともできるし、冷たい足湯のように使って、ビールなどを飲みながら友達とおしゃべりする夜を過ごしても楽しいです。

■ベナン共和国

森田 昂佑さん (JICA海外協力隊員)

現在、ベナンは大雨季と呼ばれる季節で、日中は30度を超える蒸し蒸しと暑い日々が続いています。そんな暑さを乗り切るために欠かせないのが冷たい飲み物です。ピサップというハイビスカスのジュースはさっぱりと甘酸っぱく、パイナップルと生姜のジュースは、パイナップルの強い甘



さに、生姜の辛くピリピリする刺激がわりわり、自然の炭酸飲料のようです。1袋20円とお買い得なもの魅力的。ジュースのおかげでのどが潤い、元気に活動できています。

SIA メンバーズ

Members of Shiga Intercultural Association for Globalization

SIAメンバーズ各店より滋賀県国際協会会員の皆さまに会員相互の交流を目指して
会員特典を提供いたしております。特典利用の際は会員証を提示してください。

お店コーナー

神原税理士事務所

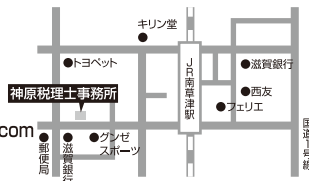
日々の帳簿処理、会計や税金について、できるかぎり、お客様の立場でわかりやすくサポートします。とくに海外勤務や英文経理の経験がある税理士が、日本語が苦手な外国人事業者の確定申告や中小外資法人の会計税務にも対応します。



会員特典 相談料無料(何でも気軽に相談ください)

住所: 草津市南草津2丁目3-9
コミュニティ南草津ビルⅢ3F-B
(南草津駅西口より徒歩5分)
電話: 077-599-3480
(電話受付可)

URL: <http://www.kambara-office.com>
営業時間: 9:00~17:00
定休日: 土・日・祝



中華料理 オーパスワン



★夏のおすすめ★

- ・おすすめコース
お1人様 3,800円(税込)
- ・飲み放題コース
お1人様 5,300円(税込)
- 冷中華・ジャージャー麺
やっています!

会員特典 会員証提示でソフトドリンク1杯サービス

住所: 野洲市市三宅2531 アルテールななのい1階
電話&FAX: 077-586-6028
営業時間: ランチ 11:00~14:00
ディナー 17:30~21:30
(ラストオーダー21:00)

JR野洲駅徒歩5分 駐車場完備
定休日: 水曜日と第1・第3木曜日
※定休日は予告なしで変更になる場合がございます。事前にご確認ください。



西洋料理 ロジェ・ソバージュ

記念のフルコース お一人様 税込み1,650円(昼・夜とも)

- 〈メニュー〉
- 冷製オードブル11種盛合わせ
 - 本日のポタージュスープ
 - パン
 - 魚料理:貝類と菱蟹と真鯛のギリシャの細パスタ包み
 - 肉料理:牛肩肉のステーキ グラタン仕立て
 - サラダ
 - デザート:ケーキ・フルーツ・アイスクリームの盛合わせ
 - コーヒー又は紅茶



会員特典 グラスワイン or ソフトドリンク or ノンアルコールビールの
いずれか、お一人様一杯サービス

他のサービスとの併用はできません。

住所: 近江八幡市堀上町99-12
電話: 0748-36-8123
営業時間: ランチ 11:00~14:00
ディナー17:00~21:00
定休日: 不定休



Siam Erawan サヤームエラワン



「微笑みの国・タイ王国」を紹介するサヤームエラワンは、シェフのノイさんが作る本物のタイ料理のご提供や、タイ文化講座の出張開催をしています。タイ料理は夏期のみ営業(ホームページから営業日をご確認ください)タイ文化講座や「マイペンライに学ぶ、ゆる〜く楽な生き方」講座は、ホームページからお問い合わせを。LINE公式アカウント「サヤームエラワン」を登録してくださいね。



会員特典 各種教室料金・飲食代(テイクアウトは除く)5%OFF

住所: 東近江市八日市町11-16
営業時間: ランチ11:30~ 定休日: 日・月曜日
電話: 0748-22-0422 携帯: 090-1131-9344
URL: <https://www.siamerawan2558.com>



ドイツレストラン ヴルツブルク German Restaurant WURZBURG



毎年大人気!当店特製スペアリブ。ドイツビールとの相性は抜群です。びわ湖の畔でまるでドイツにいるかのようなひとときをお過ごしください。SIA会員様はご飲食代が5%OFFになります。メンバーズカードをお忘れなく。

会員特典 5%飲食代金割引(ご本人含む6名様まで)
※クレジットカード・その他割引との併用不可

住所: 大津市由美浜5番地
電話: 077-526-3500 FAX: 077-526-3539
E-mail: wurzburg@mx.bw.dream.jp
URL: <https://www.wurzburg.jp>
営業時間:
ランチタイム 11:00~15:30(ラストオーダー 14:30)
ディナータイム 17:00~21:00(ラストオーダー 20:00)
定休日: 不定休



ミシガン州立大学連合日本センター 〈2023 秋季 英語プログラム受講生募集〉

【開講期間】

2023年10月10日(火)~12月9日(土)

●火水土 全9回 ●木金 全8回

【教室】ミシガン州立大学連合日本センター(彦根市松原町1435-86)

近江八幡教室(近江八幡市鷹飼町454-4 Nビル)

【クラス】

- 一般コース: 初級から上級まで5コース
(1クラス60分・高校生以上対象)
- EBC: バイリンガル小中学生クラス

会員特典 受講料5%OFF(ご本人のみ)

※お申し込み時にSIA会員であることをお申し出ください。

〈こども英語教室2023も同時募集中〉
(2023年4月4日~2024年3月8日)

住所: 彦根市松原町1435-86
電話: 0749-26-3400 FAX: 0749-24-9356
URL: <https://www.jcmu.net>
E-mail: sifah@mx.bw.dream.jp



各クラスの
詳細はHPを
ご覧ください

SIAメンバーズ



アプルネの オンラインにほんごクラス

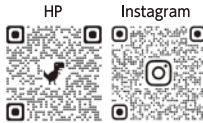
しよきゅう、ちゅうきゅう、じょうきゅう。しょうせつ、マンガ、ビジネスにほんごも。げつようび〜もくようび。あさ、ひる、よるのクラスも。ZOOMで。もうしこみはメール、HP、インスタ。



～にほんごクラス PRICE～
グループ・レッスン /
☆オンライン 1かい 75 ふん
いっかげつ 5かい 4,950えん
4かい 3,960えん
(げっしゃ・せいこみ)

会員特典 **ねんかいひ3,000えん→2,000えん**

住所：滋賀県大津市打出浜2-1
滋賀県産業支援プラザ コラボしが21内
1階Biz Base コラボ21
URL : <https://www.apprenez-langues.com/>
E-mail : apprenezlemonde@gmail.com



地球雑貨アース・ヴィレッジ

東南アジアを中心に店主自らが現地へ赴いて仕入れた品々が所狭しと並ぶ民族雑貨店。その土地ならではの自然素材の特徴を活かした手作り雑貨や伝統的な民族楽器など、味わい深い品物を手に取って、地球に息吹く様々な文化や人々の営みを感じてください。



◀ジャンベ・ディジュリドゥーの取り扱い
は国内最大級! 初めての方には演奏方法などレクチャーいたします。

会員特典 **SIA会員証提示で全商品5%OFF**

住所：〒521-1311 近江八幡市安土町下豊浦5096-31

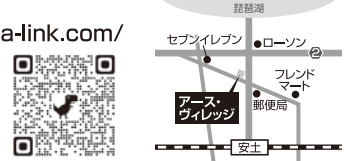
TEL : 0748-46-2007

URL : <https://www.gaia-link.com/>

営業時間：9:00～19:00

定休日：毎週日曜日

※ホームページ内でも商品の購入が可能です。



トラベルコーナー

会員証を提示いただけますと、割引特典がご利用いただけます。
お申込・お問い合わせの際には滋賀県国際協会の会員であることをお申し出ください。

東武トップツアーズ 滋賀支店

いつの時代も、旅には「安全」と「安心」が求められてきました。旅を愛する、旅を求める、すべての人たちと共に、東武トップツアーズは、新しい旅のあり方を追求してまいります。
私たちは、旅をあきらめずに提供し続けてまいります。

- 会員特典
- 国内パッケージツアー〈FEEL〉 基本旅行代金の5%割引
 - 海外パッケージツアー〈JALPACK〉 基本旅行代金の5%割引

住所：草津市若竹町17-10 KB21 2階
電話：077-565-0109
FAX：077-565-0112
E-mail : yasutaka_kume@tobutoptours.co.jp
URL : <https://www.tobutoptours.co.jp/>
営業時間：9:30～17:30
定休日：土・日・祝



琵琶湖汽船 ミシガンクルーズ



びわ湖の南湖を周遊する、赤いパドルが目印の外輪船。湖国大津の玄関口・大津港の他、事前予約制でのおの浜観光港や柳が崎湖畔公園港にも寄港するので、三井寺や石山寺、比叡山などの観光と組み合わせるとお手軽にびわ湖遊覧を楽しんでいただけます。船内では360度に広がる景色をデッキから望める他、観光案内やショータイムもミシガンならではの楽しみみとして充実したクルージングをお過ごしいただけます。



会員特典 **ミシガンクルーズ 乗船料10%引(本人含む5名様迄)**

企画商品・セット商品などは除く他割引併用不可

※ピアンカまたは、他の船舶が運航する場合がございます。運航ダイヤなど、詳しくはお問い合わせください。

住所：大津市浜大津5丁目1-1
電話：077-524-5000 FAX：077-524-7896
URL : <https://www.biwakokisen.co.jp>
営業時間：9:00～17:00(予約センター受付時間) 定休日：無休

SIA会員募集のご案内

当協会の活動に対する理解と幅広い参加をいただくために会員を募集しております。国際交流や多文化共生地域づくりに関心をお持ちの方のご入会をお待ちしております。

会員特典

- 当協会主催イベント参加費の割引
- SIAメンバーズ各店での利用割引、優待等
- 当協会情報誌のお届け
- 県内イベント案内のメルマガ配信
- 国際情報サロン図書等や国旗の貸出サービスあり

会費

- 学生会員 1口年額 1,000円
- 個人会員 1口年額 2,000円
- 団体会員 1口年額 10,000円

会員情報

- [現在の会員数] 2023年6月末日現在
・個人会員/231人・団体会員/87団体
[新規入会] 2023年3月1日～6月30日
・個人/2人

SIAサイトはこちら



ホームページ



Facebook

ご寄附の御礼

下記の法人様よりご寄附をいただきました。ご厚志に感謝申し上げます。

寄附金は、国際交流推進や多文化共生の地域づくり推進など、当協会の事業に活用させていただきます。

有限会社 三王都市開発
100,000円
(敬称略)